

事業シート (概要説明書)																		
予算事業名	大学発シーズ加速化事業				事業開始年度	2017年度												
上位施策事業名	総合計画 活力3産学官の連携によるものづくり産業の高度化				担当局・部名	商工労働部												
根拠法令等	-				担当課・係名	商工企画課												
事務区分	■自治事務 □法定受託事務				作成責任者	佐伯												
実施の背景	産学官共同研究や大学等から企業への技術移転を促すことにより、様々な分野において新技術や新商品を数多く開発、実用化させるとともに、本県のものづくり技術の高度化を図り、産業の競争力を強化することが必要																	
目的 (何をどうしたいのか)	大学が有する技術シーズを活用した大学、企業による共同研究課題を支援し、県内企業への技術移転や、新たな製品開発を推進する																	
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	富山大学、富山県立大学の研究者				対象者数 (全住民に対する割合)												
						1,035	人	(	0.1010	%)								
	実施方法	□直接実施																
		■業務委託 又は □指定管理 (委託先又は指定管理者: 富山大学、富山県立大学)																
		□補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体: )																
		□貸付 (貸付先: ) □その他 ( )																
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標													
	大学・企業の共同研究プロジェクトへの支援		5,000	千円	採択件数													
				千円														
				千円														
				千円														
				千円														
関連事業 (同一目的事業等)	産学官オープンイノベーション推進事業費、商工企画課、31,560千円、産学官共同研究費																	
コスト	2022 年度 (予算)		2021 年度 (決算)		2020 年度 (決算)		2019 年度 (決算)											
	事業費合計		5,000	千円	4,815	千円	4,554	千円	4,500	千円								
	事業費内訳 (2021年度分)		委託費: 5,000千円 (上限1,000千円 × 5件程度)															
	人件費	担当正職員	0.03	人	221	千円	0.03	人	219	千円	0.03	人	218	千円	0.03	人	225	千円
		臨時職員等		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
		人件費合計	0.03	人	221	千円	0.03	人	219	千円	0.03	人	218	千円	0.03	人	225	千円
総事業費		5,221	千円	5,034	千円	4,772	千円	4,725	千円									
財源 内訳	国県支出金		2,500	千円	0	千円	2277	千円	3600	千円								
	国県支出金の内容		2020年度 (推進交付金1/2)、2019年度 (地域活性化雇用創造プロジェクト8/10)															
	地方債			千円		千円		千円		千円								
	その他特財			千円		千円		千円		千円								
	その他特財の内容																	
	一般財源		2,721	千円	5,034	千円	2,495	千円	1,125	千円								
財源合計		5,221	千円	5,034	千円	4,772	千円	4,725	千円									

事業シート (概要説明書)							
予算事業名		大学発シーズ加速化事業			事業開始年度	2017年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度
		研究プロジェクトの採択件数		件	5/5	5/5	5/5
		研究プロジェクトの応募件数		件	6	5	7
					/	/	/
				/	/	/	
単位当たりコスト		財源合計	/	採択件数	1,006千円	954千円	945千円
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	①県内産業の振興を図るための新製品開発や事業化件数 ②県内企業の技術力を強化するための、特許出願件数					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度
		①商品化・事業化件数		件	4	0	1
		②特許出願件数		件	2	0	1
			/	/	/		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施により、特許出願や国の大型外部資金につながった事例があるが、件数が少ない。</li> <li>・県内企業への技術移転や、新製品開発には時間を要する。</li> <li>・今後とも大学シーズを県内企業へ技術移転できるよう、各大学のコーディネータと協力しながらシーズを発掘する。</li> </ul>					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		岐阜県「技術シーズ移転・実証事業費補助金」10,000千円/件 補助率2/3以内 長野県「世界市場展開のための研究開発支援事業」2,000千円/件 補助率1/2以内					
特記事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内で技術系の学部を持つ大学（富山大学、富山県立大学の2校）を対象に公募している。</li> <li>・応募案件は、研究者単位で審査しており、採択件数の各大学への割振りは行っていない。</li> </ul>					

# ものづくり産業に係る研究（製品）開発支援事業の概観

## 国による支援

例えば ○ 成長型中小企業等研究開発支援事業（旧サポイン事業）

- ① 中小企業等が大学・公設試等と連携して行う研究開発  
最長3年 9,750万円/3年補助（補助率2/3）

助成額=大  
助成期間=長

## 県による支援

ステップアップ

実用化  
(応用)  
研究

産学官グループによる研究（製品）開発

### ○ アルミ産業成長力強化戦略推進事業

- ① リサイクルアルミに関する研究開発  
最長3年 500万円/年助成（委託）

### ○ ヘルスケア産業育成創出事業

- ① ヘルスケア製品加速化事業<シーズ志向型>  
最長3年 500万円/年助成（委託）
- ② ヘルスケアイノベーション・チャレンジプログラム<現場ニーズ型>  
最長2年 500万円/年助成（委託）
- ③ ヘルスケア製品開発特別枠<フェムテック製品開発>  
最長2年 500万円/年助成（委託）

### ○ とやま成長産業創造プロジェクト推進事業 (グリーン成長戦略分野)

- ① 単独企業枠 最長3年 500万円/年助成（委託）
- ② 複数企業枠 最長3年 1,000万円/年助成（委託）

### ○ 産学官オープンイノベーション推進事業

- ① 新ものづくり戦略推進枠<パイロットスケール>  
最長2年 500万円/年助成（委託）
- ② 新商品・新事業創出枠<ラボスケール>  
最長2年 200万円/年助成（委託）

基礎  
研究

産技研

### ○ 産学官協働ローカルイノベーション創出事業

- ① 技術研究 単年度 70万円/年（再配当）

県内  
大学

### ○ 大学発シーズ加速化事業

- ① 研究開発 単年度 100万円/年（委託）

## 大学発シーズ加速化事業【推進交付金】

### 1 趣旨

大学が有する技術シーズを活用した大学、企業の共同研究課題を支援し、県内企業への技術移転、新たな製品開発を推進するもの。

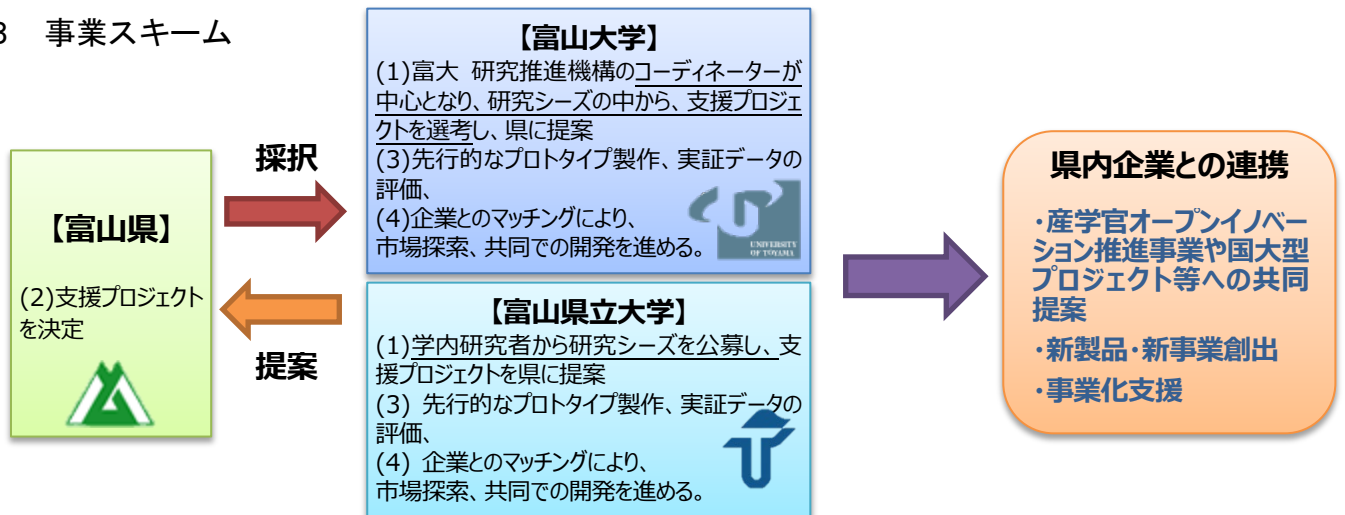
### 2 事業内容

バイオ、医薬工連携、次世代自動車、航空機、ロボット、ものづくり、深層水、環境・エネルギー、ナノテク

大学の技術シーズを活用し、成長産業分野に関連した企業の製品事業化からバックキャスト型で設定された大学、企業の共同研究プロジェクトに対して支援する。

- (1) 将来、企業への事業化が有望な技術シーズを探索するため、富山大学、県立大学へ公募する。大学ではコーディネーターが中心となって学内のシーズを集約し、プロジェクトを県に提案
- (2) 県において、予算の範囲内で、事業を進めるプロジェクト4～5件程度を決定【上限100万円×5件程度（富山大学、県立大学から計5件程度）】
- (3) 事業化を各大学に委託し、大学コーディネーター等が各プロジェクトの進捗を管理
- (4) 本事業をステップに、県内企業と連携し、産学官による製品開発・共同研究、技術移転による産学官オープンイノベーション推進事業の活用、国大型プロジェクト、スタートアップの創出等にむすびつける。

### 3 事業スキーム



4 予算額 5,000 千円

5 委託先 富山大学、富山県立大学

### 6 スケジュール

- (1) テーマの選考（～7月）、富山大学と富山県立大学との間で、委託契約の締結
- (2) プロトタイプ製作、実証データ評価等を実施（7月～2023年2月末）
- (3) 実績報告（2023年3月末まで）

## 大学発シーズ加速化事業取組み研究概要（例）

テーマ： ガス透過性金型による1cm<sup>2</sup>当たり100万本以上の超微細なマイクロニードルの開発

実施大学： 富山県立大学

概要： 化粧品・美容分野では、薬剤を経口投与すると、消化による分解を受けやすいことから注射による投与が一般的である。しかしながら、煩雑さや痛みを伴わない投与方法が望まれている。従来のマイクロニードルは数百ミクロンのボトム径、高さをもつ1cm<sup>2</sup>当たり100-1000本程度の針で、薬剤を針表面に塗布または内部に含有させて皮膚に貼り付けて使用するが、有効成分を皮膚にまんべんなく浸透させることが難しかった。

成形時に巻き込む空気や有効成分から発生する水・ガスが抜ける独自の「ガス透過性金型」を用い、効率的に美容成分が注入可能なヒアルロン酸系超微細マイクロニードル（1cm<sup>2</sup>当たり約25万～100万本）が初期試作でき、展示会等で成果を公開した。今後、原料やマイクロニードルの加工条件の最適化を検討する。